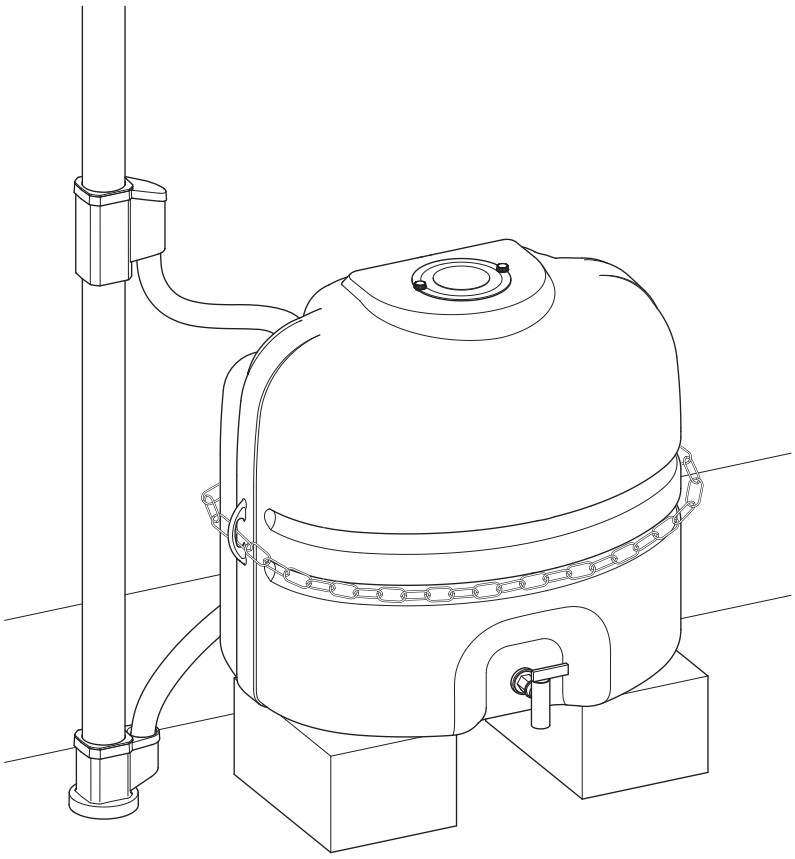
Panasonic

# 取扱説明書
# 施工説明書

雨水貯留タンク
# 雨ため専科110
# （容量110L）

**品番　MQW102**




はじめに
安全上のご注意 2
各部の名前 4

取り付けかた
施工前の準備 5
施工方法 6
施工後の確認 10

使いかた
使いかた 11
お手入れのしかた 12

困ったとき
故障かな? 13
仕様 14
保証書 15
商品のお問い合わせ 16


＜施工される方へ＞
取扱説明書は
必ずお客様にお渡しください。

■この商品の施工には
「たてとい接続キット MQW□20（別売）」
が必要です

このたびは、雨水貯留タンク 雨ため専科110（容量110L）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書·施工説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（2〜3ページ）は、設置前、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- 専門工事店様が、施工される場合は、この取扱説明書·施工説明書を必ずお客様にお渡しください。
- この取扱説明書·施工説明書は、必ず保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日·販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

**保証書付き**

# 安全上のご注意 必ずお守りください

施工前、ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

■施工やお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 してはいけない内容です。

必ず守る 実行しなければならない内容です。

※お読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告（施工時）

禁止

- ●雨水貯留タンク内に電気製品を入れない
  - ・感電や漏電火災につながるおそれがあります。

※水中ポンプなどを使用する場合は、使用のポンプメーカーにご相談ください。

必ず守る

- ●満水重量（約150kg）に十分耐えうる場所に確実に施工し、強風や落雪の影響を受ける場所には施工しない
  - ・破損やけがにつながるおそれがあります。
- ●雨水貯留タンクは、水平で安定した場所に施工する
- ●雨水貯留タンクがぐらつかないか確認する
- ●傾斜面の場合は、雨水貯留タンクが水平になるようにして、ぐらつかないことを確認する
- ●転倒防止のため、チェーンなどで必ず固定する
  - ・転倒により、破損やけがをするおそれがあります（転倒防止用の部材は必ず金属製を使用してください）。
- ●幼児・子供がいる場合は、2階以上のバルコニー（ベランダ）で使用しない
  - ・転落やけがをするおそれがあります。
- ●切断作業は正しい服装と保護具（軍手など）を着用する
  - ・けがのおそれがあります。
- ●共用施設を使用する者は、設備および、物品などを無断で移動、改廃または雨水貯留タンクを新設しない
  - ・違法行為により、その損害を弁償しなければなりません。

# 安全上のご注意 必ずお守りください

## ⚠警告（使用時）

禁止

●ためた雨水は絶対に飲み水として使用しない
- 食中毒のおそれがあります。

●ガソリンや灯油、その他薬品などの貯留には使用しない
- 爆発･火災につながるおそれがあります。

●防腐剤･殺虫剤、肥料などを入れない
- 誤って飲んだ場合、中毒につながるおそれがあります。

●タンク本体、蛇口に乗ったり、無理な力をかけない
- 破損やけがにつながるおそれがあります。

●地震などの揺れを感じたときは、雨水貯留タンクに近寄らない
- 大型の地震の場合は転倒するおそれがあります。

## ⚠注意（施工時）

禁止

●火元に近い場所に設置しないでください
- 変形･火災につながるおそれがあります。

必ず守る

●施工完了後、水をためて水漏れやぐらつきがないことを確認する
- 水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。
  安定が悪かったり傾いたりした場合は、すぐに水を抜き使用を中止してください。

●バルコニー（ベランダ）などで使用する場合は、こぼれた水などでしみになるおそれがあります
- 建物を傷めるおそれがあります。

## ⚠注意（使用時）

禁止

●雨水貯留タンクに重量物などを立てかけない
●雨水がたまったまま雨水貯留タンクを移動させない
●雨水貯留タンクの分解、改造はしない
- 破損やけがにつながるおそれがあります。

●火気を近づけない
- 変形･火災につながるおそれがあります。

●シンナーやベンジンなどの有機溶剤およびブラシなどの道具を使って清掃しない
- 破損･火災･けがにつながるおそれがあります。

●凍結する時期は雨水貯留タンクの使用をいったん止め、ためた雨水を抜き、たてといから外す
- 凍結により雨水貯留タンクやたてといが破損するおそれがあります。

必ず守る

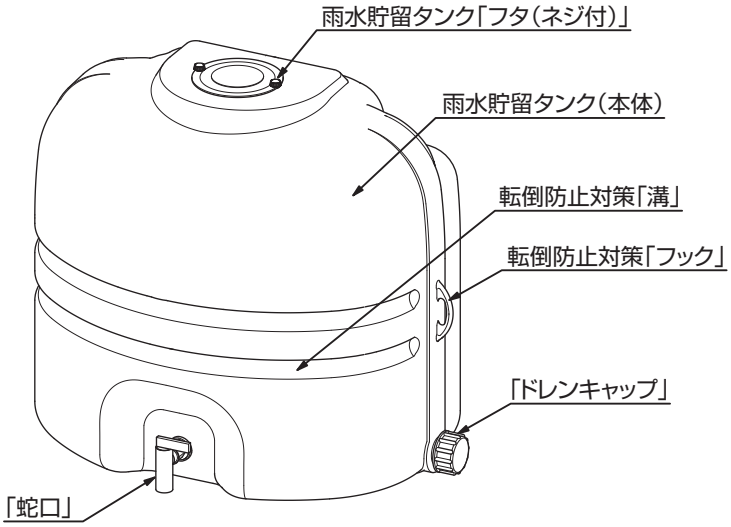
●台風など強風のおそれがあるときは、本体の半分以上に水をいれておく

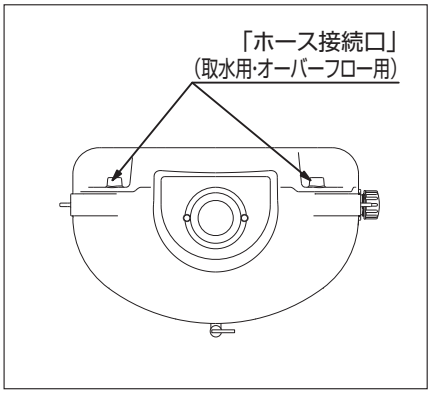
●「取出します」のフィルターや本体内部は定期的に清掃を行う
- あふれた水で建物を傷めるおそれがあります。

# 各部の名前と働き

## 雨ためま専科110

### ①雨水貯留タンク

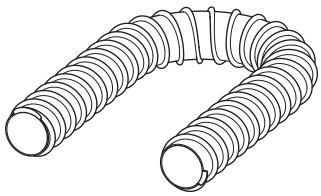



・雨水貯留タンクの施工には、「たてとい接続キット(別売)」と転倒防止用のチェーン(市販品)や台座用のブロックなどが別途必要となります。

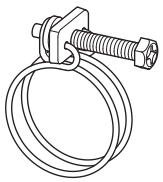
## 付属品

### ②ホース(1.5m×1本)



※2本に切って使います

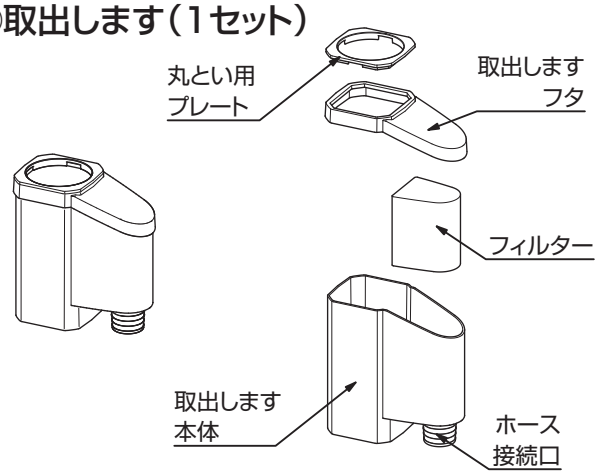
### ③ホースバンド(3個)



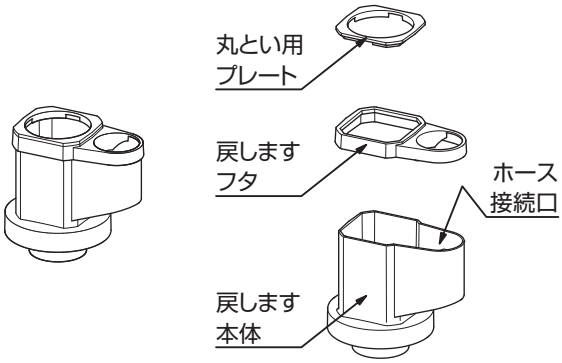
### ④取扱説明書・施工説明書(本書)

## たてとい接続キット(別売)

### ①取出します(1セット)




### ②戻します(1セット)



# 施工前の準備

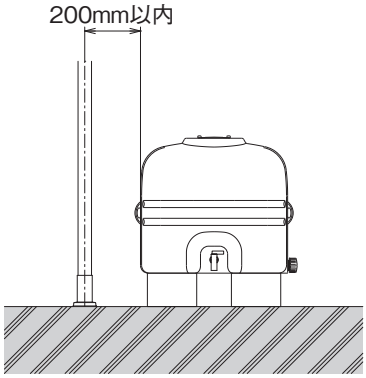


## ①最初に、4ページに記載の部材がすべて揃っているかご確認ください

- 固定用のチェーン、アンカーボルト、打ち込み棒などは金属製の市販品をご用意ください。(6ページ)
- 台座用のブロックもご用意ください。(6ページ)
- 台座用のブロックは最大高さ300mmまでとしてください。

## ②施工場所の確認

- たてといの中心から本体端部までの距離は200mm以内としてください。付属のホースが届かなくなる可能性があります。




**⚠警告**

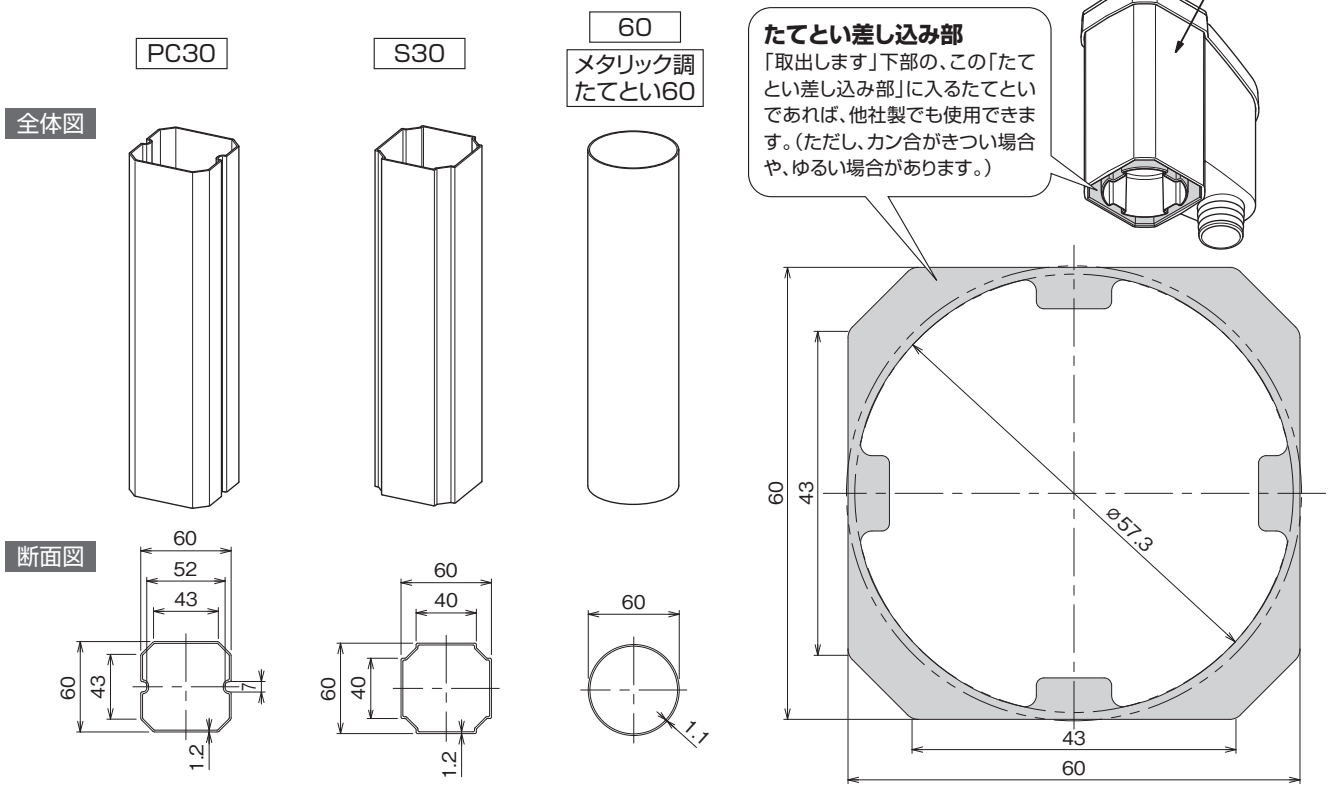
必ず守る

- **水平で安定した場所に施工する**
- **満水重量(約150kg)に十分耐えうる場所に確実に施工し、強風や落雪の影響を受ける場所には施工しない**
  - 転倒により、破損やけがをするおそれがあります。

## ③たてとい形状の確認

下図同等サイズのたてといに対応 (単位:mm)

※他社製たてといの場合、使用可能かどうか事前に下記でご確認ください。



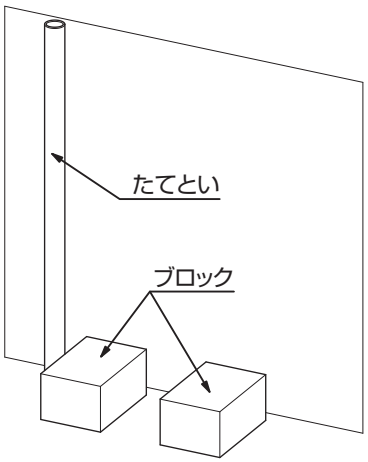

## ④施工時に準備するもの

- ブロック(必要個数)
- 金属製のチェーン、固定フックなど(転倒防止用)
- ものさし、または巻尺
- ノコギリ(金切もしくはプラスチック用)
- カッターナイフ、ペンチまたはニッパー(ホース切断用)
- プラスドライバー(ホースバンド固定用)
- 鉛筆もしくはマーカー

※軍手なども必要に応じてご用意ください。

# 施工方法（図は、たてとい60で説明しています）

## 1.施工場所にブロックを置く




・設置場所にブロックを傾斜のない様、水平に積んでください。
ジョーロなど水の取り出し器具に合わせて高さを調整してください。
（最大高さ300mm）

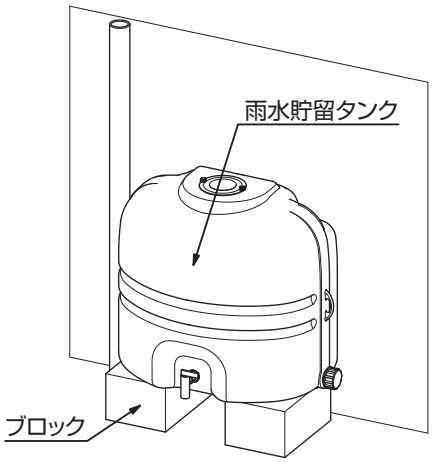
※ブロックは市販品を必要個数ご用意ください。

**⚠警告**

必ず守る

●雨水貯留タンクは、水平で安定した場所に設置する
・転倒により、けがをするおそれがあります。

## 2.施工場所に雨水貯留タンクを置く（施工場所については5ページをご参照ください）



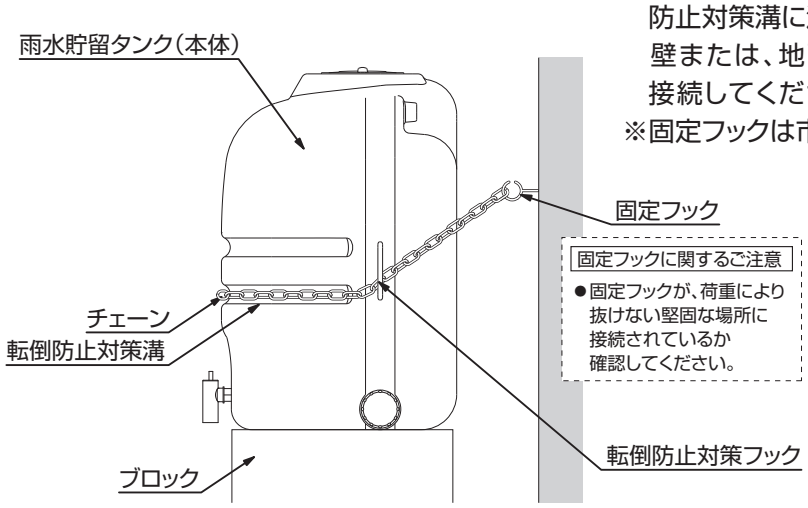

**⚠注意**

必ず守る

●壁面と雨水貯留タンク背面との距離は10cm以上離して施工する
・満水時に膨張し前方に倒れるおそれがあります。
・ホースを通すための隙間として必要です。

## 3.転倒防止のため、チェーンなどで固定する

例）壁面に固定する場合




固定フックに関するご注意
●固定フックが、荷重により抜けない堅固な場所に接続されているか確認してください。

・チェーンなどは、雨水貯留タンク（本体）の前面部の転倒防止対策溝に沿って、転倒防止対策フックに通してください。
壁または、地面に設置した固定フックにチェーンなどを接続してください。

※固定フックは市販品をご用意ください。

**⚠警告**

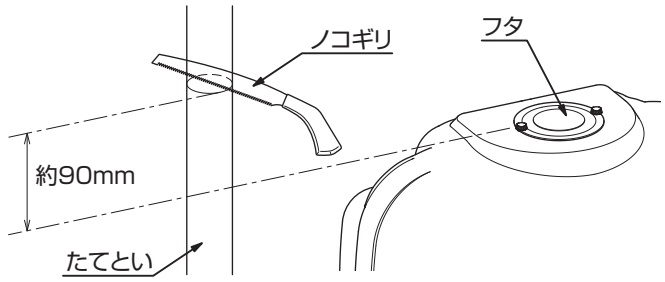
必ず守る

●転倒防止のため必ず雨水貯留タンクを固定する
・転倒により、けがをするおそれがあります。

# 施工方法（図は、たてとい60で説明しています）

## 4.戻しますの取り付け

### ①フタの上面より90mm高い位置で、たてといをノコギリで切断します。




※切断面が水平になるように切ってください。
※切断の際、壁などを傷つけないように
注意してください。

**⚠注意**

必ず守る

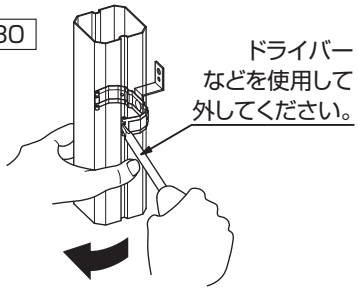
- **たてといの切断位置が正しい寸法であることを確認する**
  - 90mm以下では水がたまりにくくなるおそれがあります。
- **たてとい切断面のバリは取り除く**
  - 水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。

### ②たてといを外します。

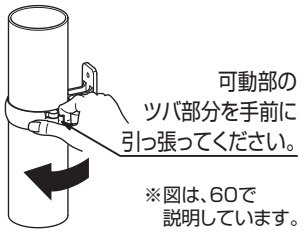
- たてといと排水管との接続構造より、対応が異なります。
- たてとい固定金具が取り付いている場合は、一度固定金具を外してください。

〈たてとい固定金具の外し方〉

PC30



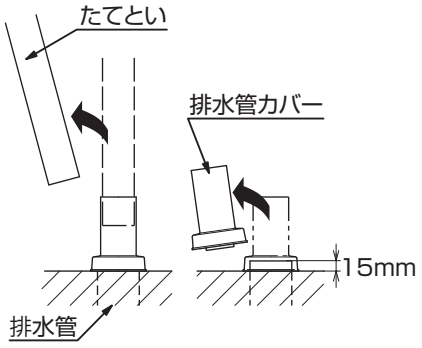

60
メタリック調
たてとい60
S30




※図は、60で
説明しています。

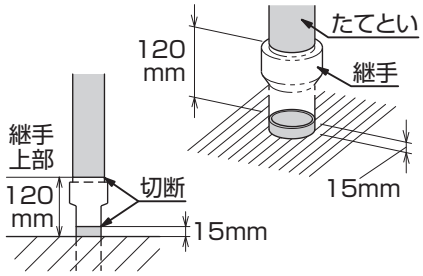
〈A〉排水管カバーがある場合

①切断したたてといを排水管カバーから外します
②排水管から排水管カバーを外します



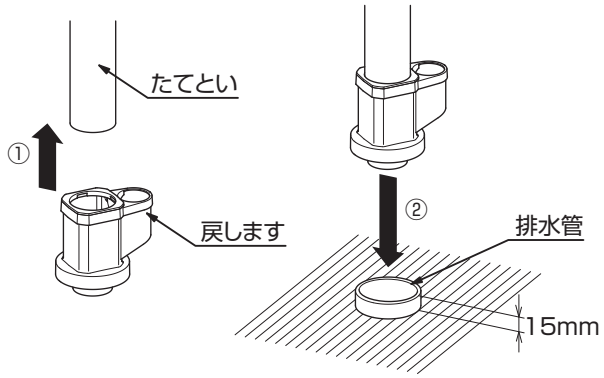

〈B〉排水管カバーがない場合

- 地面（GL）より15mm程度の高さで排水管を切断してください
- さらに、たてといと排水管が継手などで接続されている場合は、継手上部で切断してください




※地面（GL）から排水管の継手上部までの距離が120mm以上ある場合は別途たてといを準備する必要があります。（部材は、ホームセンターなどで購入が可能な場合があります。）

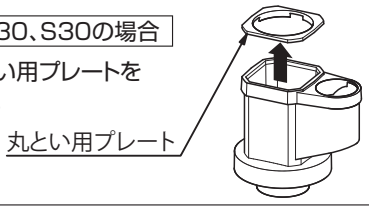
### ③たてといに戻しますを取り付け、戻しますを排水管に接続します。




- たてといが戻しますの奥まで挿入されていることを確認してください。
- 取り外したたてとい固定金具は、再度固定してください。

たてといがPC30、S30の場合

戻しますの丸とい用プレートを
外してください。




**⚠注意**

必ず守る

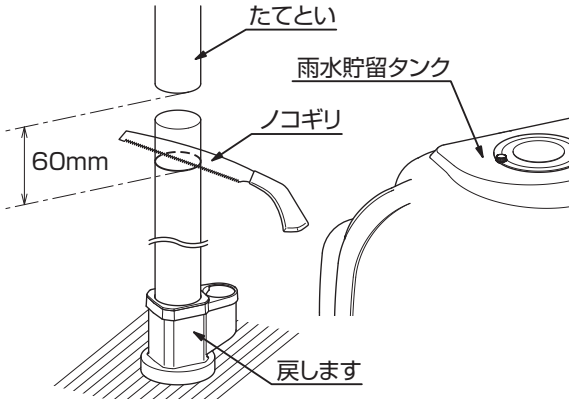
- **たてといと戻しますは接着しない**
  - たてといの伸縮により、たてといや戻しますが破損するおそれがあります。

# 施工方法（図は、たてとい60で説明しています）

## 5.取出しますの取り付け



### ①たてといの隙間が60mmとなる位置に、鉛筆もしくはマーカーで切断線を描き、ノコギリで切断してください。




・切断面が水平になるように切ってください。

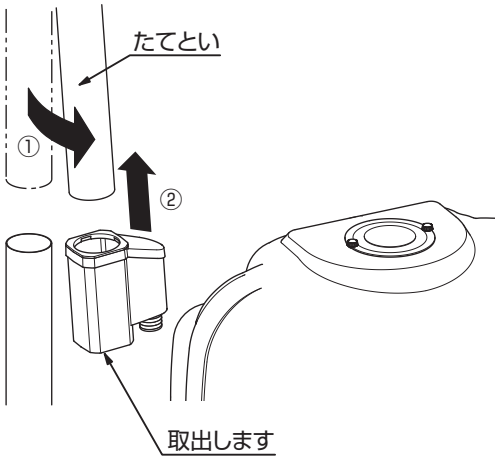
※たてといの隙間が60mm以上ある場合は別途たてといを準備する必要があります。部材は、ホームセンターなどで購入が可能な場合があります。

**⚠注意**

必ず守る

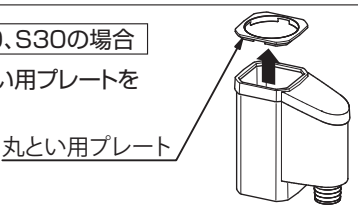
●たてとい切断面のバリは取り除く
・水漏れにより、建物を傷つけるおそれがあります。

### ②上側のたてといを少し手前にずらして、取出しますを上方向に差し込んでください。




・必要に応じて、たてとい固定金具を外してください。

たてといがPC30、S30の場合
取出しますの丸とい用プレートを外してください。

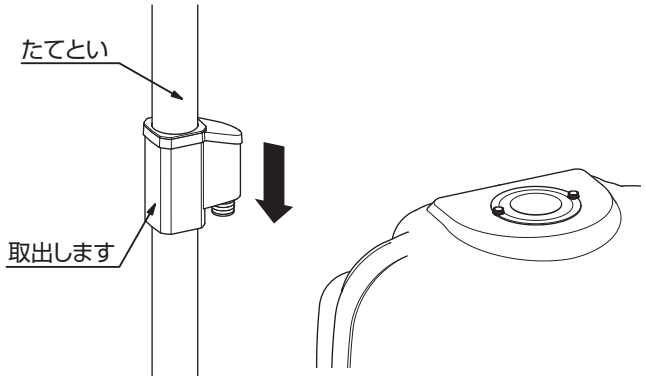



**⚠注意**

必ず守る

●取出しますのフィルターが奥まで入っていることを確認する
・雨水に含まれる砂やほこり、ゴミなどが雨水貯留タンクに流入し、水がにごったり蛇口の目詰まりの原因となります。

### ③取出しますの接続部が下側のたてといに接続できるよう、下方向にとまるまでスライドさせてください。




**⚠注意**

必ず守る

●取出しますがたてといに確実にはまっていることを確認する
・水漏れにより、建物を傷めるおそれがあります。

●たてといと取出しますは接着しない
・たてといの伸縮によりたてといや取出しますが破損するおそれがあります。

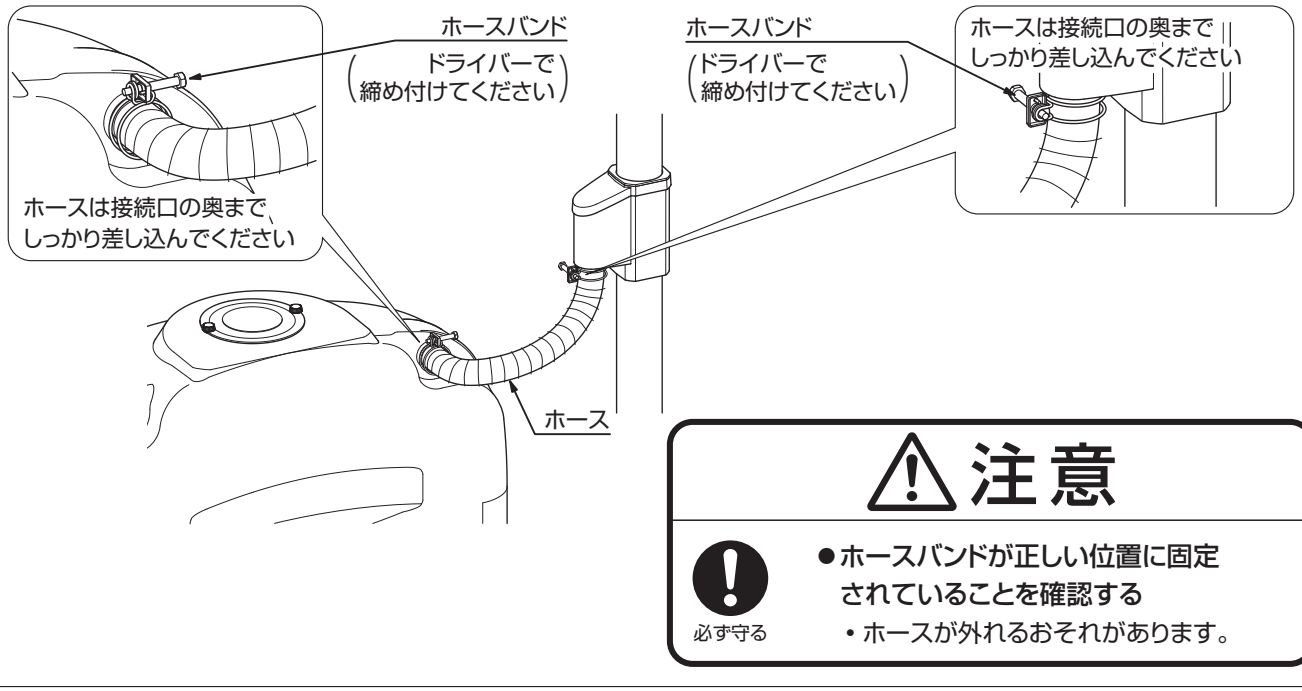
・たてとい固定金具を外した場合は、再度固定してください。

# 施工方法（図は、たてとい60で説明しています）

## 6.ホースの取り付け

①雨水貯留タンクに取出します、および戻しますを接続するために、
あらかじめホースを必要な長さに切断してください。

②タンク本体のホース接続口と取出しますのホース接続口にホースを取り付けてください。
両方の接続口ともホースバンドでホースを固定してください。

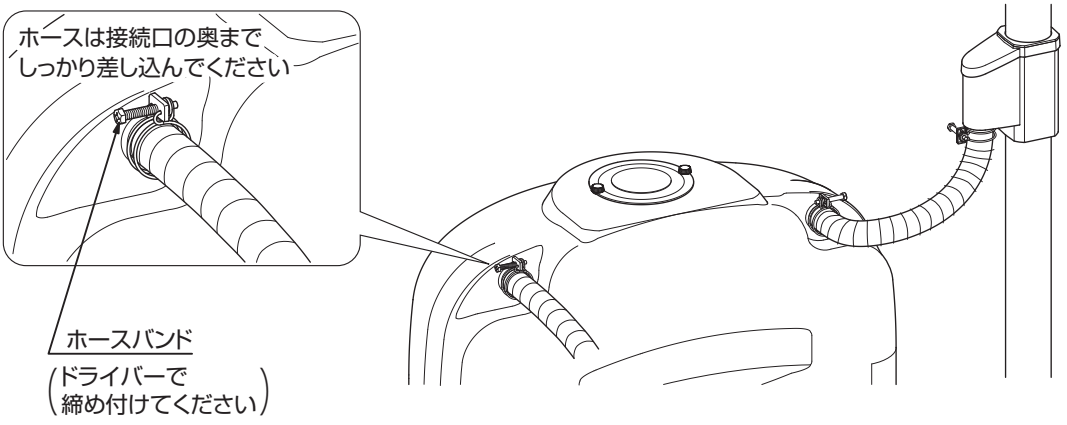


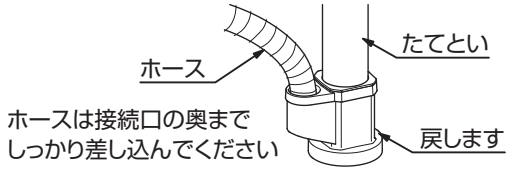

**⚠注意**

必ず守る

●ホースバンドが正しい位置に固定されていることを確認する
・ホースが外れるおそれがあります。

③タンク本体のもう片方のホース接続口と戻しますのホース接続口にホースを取り付けてください。
タンク本体の接続口側のみホースバンドでホースを固定してください。



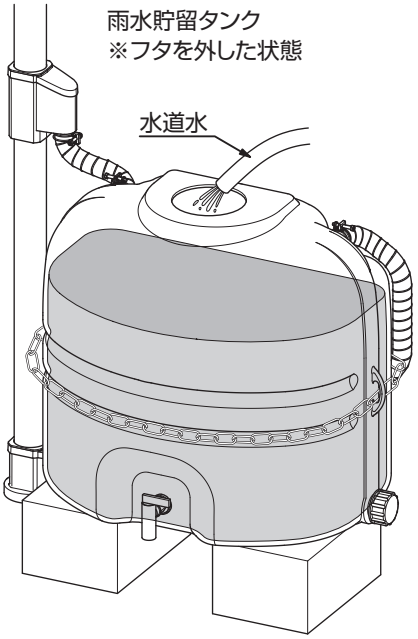

**⚠注意**

必ず守る

●ホースバンドが正しい位置に固定されていることを確認する
・ホースが外れるおそれがあります。

# 施工後の確認

## ①安全確認のため、雨水貯留タンク内に水をいれる。




・雨水貯留タンクを満水にすると若干の前後の膨れがありますが、性能や強度には影響ありません。

**⚠警告**

必ず守る

●雨水貯留タンクの安定が悪かったり傾いたりした場合は、すぐに水を抜き使用を中止する
・けがにつながるおそれがあります。

## ②フタを閉めてください。・必ずねじ(2本)でフタを固定してください。

これで施工は完了です。この状態で、下の「施工完了チェックリスト」にて施工点検をおこなってください。

## 施工完了チェックリスト

| | | |
|---|---|---|
| ❶ | ・雨水貯留タンクがチェーンなどで固定されていますか?<br>・また、チェーンなどの固定は確実ですか? | |
| ❷ | ・雨水貯留タンクが前後・左右に傾いていませんか?<br>・雨水貯留タンクが大きくガタつくことはありませんか? | |
| ❸ | ・取出しますはたてといに正しく接続されていますか?<br>また、雨水貯留タンクのフタよりも高い位置に接続されていますか?<br>・ホースは確実に接続され、ホースバンドで固定されていますか?<br>・取出しますのフィルターが奥まで正しく入っていますか? | |
| ❹ | ・戻しますはたてといに正しく固定されていますか?<br>・ホースは確実に接続されホースバンドで固定されていますか? | |
| ❺ | ・タンク本体のホース接続口(2か所)にホースが確実に接続されていますか?<br>また、ホースがホースバンドで固定されていますか?<br>・ホースがつっぱった状態になっていませんか? | |
| ❻ | ・蛇口から水漏れはありませんか? | |
| ❼ | ・フタはねじ2本で固定されていますか? | |

### 施工される方へのお願い

・取扱説明書・施工説明書(本書)をお客様に必ずお渡しください。

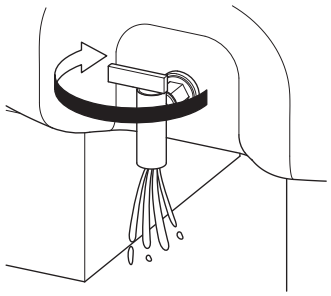
| 施工日 | 施工店名 | 担当者 |
|---|---|---|
| 年　月　日 | | |

# 使いかた

ご使用の前に「安全上のご注意」(2〜3ページ)を
必ずお読みいただき、安全にお使いください。

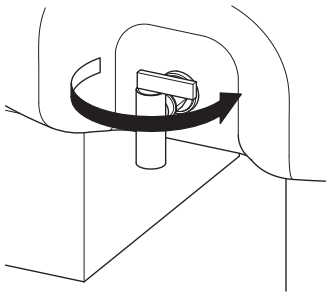
## ■水の出しかた／止めかた

蛇口レバーを
左方向に回してください



水が出ます

蛇口レバーを
右方向に回してください



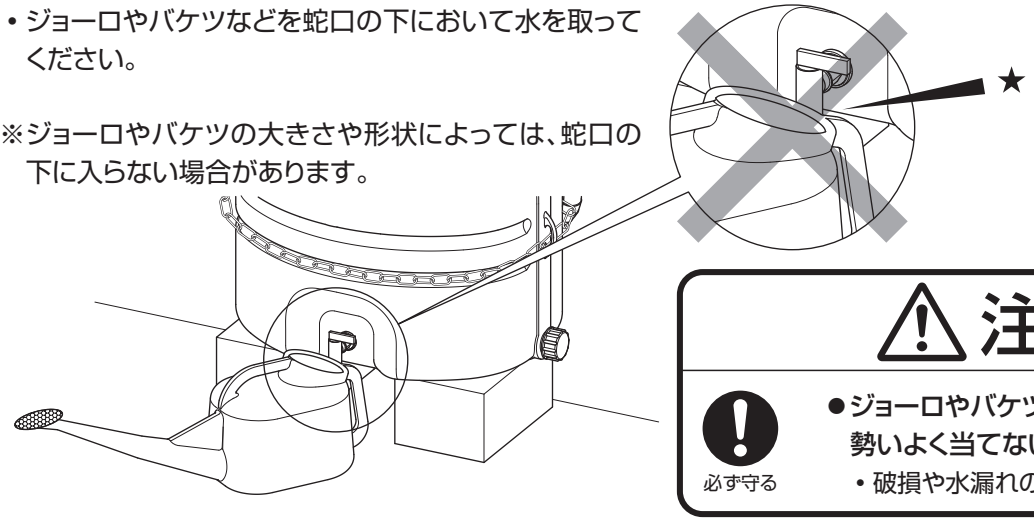
水が止まります

- 蛇口レバーの位置で、水の出る量を調整できます。
- 残水量が少ない場合、水の出る量が少なくなります。
- 急に蛇口を全開にすると水が勢いよく出てしぶきが飛散するおそれがあります。
- 夏場には熱い水が出てくるおそれがあります。

## ■水の取りかた

- ジョーロやバケツなどを蛇口の下において水を取ってください。

※ジョーロやバケツの大きさや形状によっては、蛇口の下に入らない場合があります。



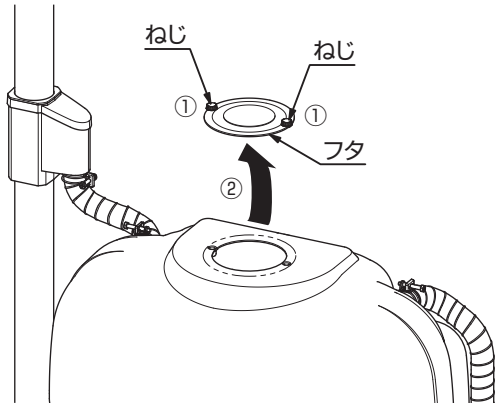

**⚠注意**

必ず守る

●ジョーロやバケツなどを蛇口に勢いよく当てない
- 破損や水漏れの原因となります。

## ■フタの外しかた／取り付けかた

- フタを固定しているねじを手でゆるめ、取り外してください。
- フタを取り付けるときは、逆の順番でフタを正しく固定してください。



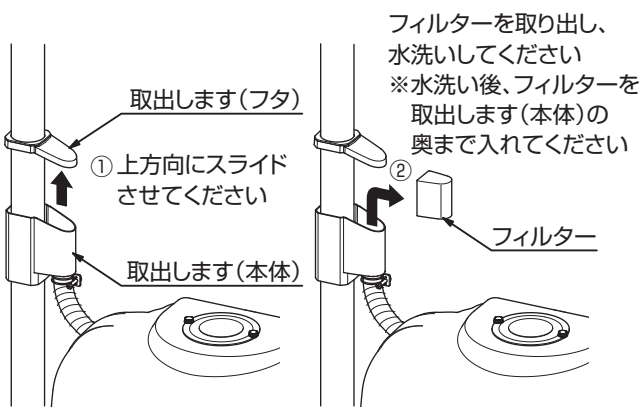

**⚠警告**

禁止

●本体内に電気製品を入れない
- 感電や漏電火災につながるおそれがあります。

# お手入れのしかた

## ■取出しますのフィルターの清掃(月1回)




●フィルターは消耗品です。
交換時期は使用状況により異なります。変形や破損があった場合、お買い上げの販売店などにお問い合わせのうえ、お買い求めください。

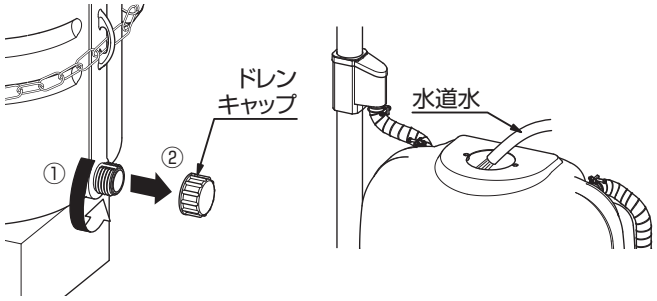
**⚠注意**

必ず守る

●フィルターの清掃に、酸／アルカリ性の洗剤やシンナーやベンジンなど有機溶剤を使用しない
・変質や破損の原因となります。

## ■本体内部の清掃(目安として、梅雨・台風前後・雪どけ後)

- 内部に砂などがたまると水が出にくくなったりする原因となります。
- ドレンキャップとフタを外し、雨水貯留タンク上部から水道水で本体内を水で洗ってください。
- 清掃後はドレンキャップを閉め、フタを正しく取り付けてください。




**⚠注意**

必ず守る

●ドレンキャップを外す前に蛇口から出る分の水を抜く
・水の勢いでケガをするおそれがあります。

## ■本体表面の清掃

- 本体表面も定期的に水洗いすることをおすすめします。
- 汚れがひどい場合は、布などに中性洗剤をつけて汚れをふき取った後、洗剤を水でよく洗い流してください。

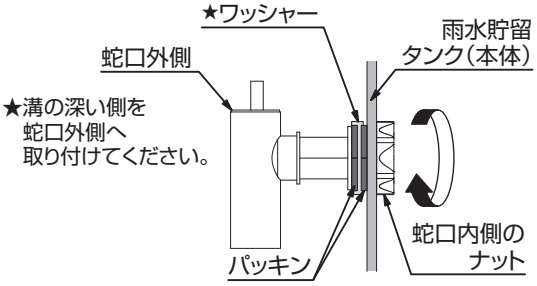
**⚠注意**

必ず守る

●シンナーやベンジンなどの有機溶剤およびブラシなどの道具を使って清掃しない
・破損・火災・けがにつながるおそれがあります。

## ■蛇口の点検

- 蛇口が緩んでいた場合は、蛇口を手で締めてください。このとき、蛇口の吐水口が下を向くようにしてください。




※蛇口の外側を持ちながら蛇口内側のナットを手で締めてください。

●蛇口のパッキンは消耗品です。
交換時期は使用状況により異なります。変形や破損があった場合、お買い上げの販売店などにお問い合わせのうえ、お買い求めください。

**⚠注意**

必ず守る

●蛇口やナットを工具で締めない
・締めすぎにより破損や水漏れの原因となります。

点検時にひび割れや破損を発見した場合は、使用をすぐに中止し、お買い上げの販売店などにお問い合わせください。

# 故障かな?

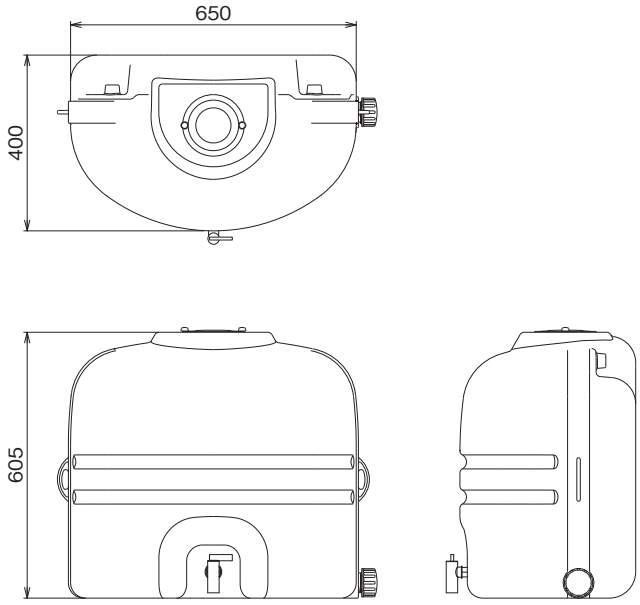
| 症　状 | 原　　因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| **蛇口を開いても水が出ない** | • タンク本体に水がたまっていない<br>• タンク本体下部もしくは蛇口に砂や泥がたまっている<br>• タンク本体内の水が凍結している | • タンク本体内を清掃してください ☞P.12<br>• 凍結しているときには使用しないでください |
| **水の出方が少ない** | • タンク本体の残水量が少ない<br>• タンク本体下部もしくは蛇口に砂や泥がたまっている<br>• 蛇口の開き量が少ない | • タンク本体内を清掃してください ☞P.12<br>• 蛇口レバーを左にまわしてください ☞P.11 |
| **タンク本体に水がたまらない** | • 取出しますのフィルターがつまっている<br>• ホースが外れている<br>• ホースが破損している<br>• 取出しますが本体よりも低い位置に施工されている<br>• ドレンキャップが外れている<br>• ドレンキャップがゆるんでいる | • フィルターの清掃をしてください ☞P.12<br>• ホースを正しく接続してください ☞P.9<br>• ホースの交換が必要です<br>• 取出しますを本体よりも高い位置に施工してください ☞P.8<br>• ドレンキャップを正しく取り付けてください ☞P.12 |
| **水がにごっている** | • 取出しますのフィルターがつまっている<br>• 取出しますのフィルターが浮いている | • フィルターを清掃してください ☞P.12<br>• フィルターを奥まで入れてください ☞P.12 |
| **蛇口部分からの水漏れ** | • 蛇口がゆるんでいる<br>• パッキンが劣化している | • 蛇口とナットを手で締め直してください ☞P.12<br>• パッキンの交換が必要です ☞P.12 |
| **取出しますからの水漏れ** | • 取出しますのフィルターがつまっている | • フィルターを清掃してください ☞P.12 |
| **ホースからの水漏れ** | • ホースが正しく接続されていない<br>• ホースが破損している | • ホースを正しく接続してください ☞P.9<br>• ホースの交換が必要です |
| **戻しますからの水漏れ** | • ホースが外れている<br>• ホースが破損している | • ホースを正しく接続してください ☞P.9<br>• ホースの交換が必要です |
| **タンク本体からの水漏れ（底、側面）** | • ホースが外れている<br>• ドレンキャップがゆるんでいる<br>• ドレンキャップにゴミがはさまっている | • ホースを正しく接続してください ☞P.9<br>• ドレンキャップを正しく取り付けてください ☞P.12<br>• ドレンキャップを清掃してください |

上記の方法でも現象が直らない場合は故障や破損のおそれがあります。
施工業者もしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

# 仕様

## 雨水貯留タンク

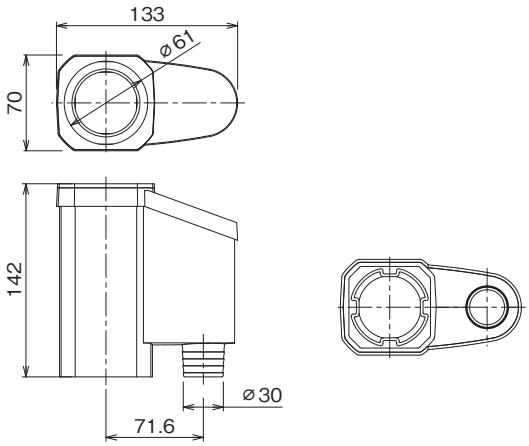
（単位：mm）




| | |
|---|---|
| タンク容量 | 有効容量　110L<br>（最大容量　120L） |
| 材　質 | ポリエチレン |
| 重　量 | 約6.7kg（空状態） |

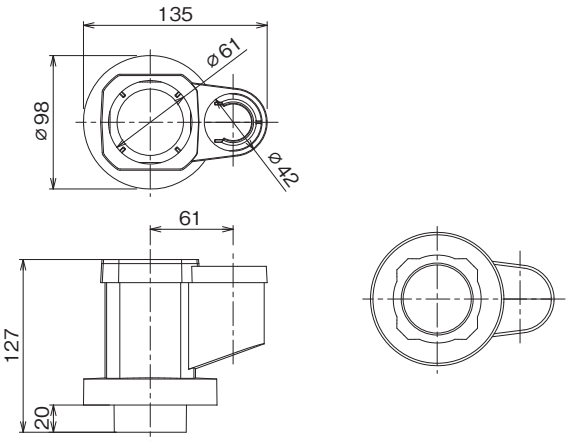
## 取出します

（単位：mm）




## 戻します

（単位：mm）



Panasonic

# 雨水貯留タンク 雨ためま専科110 保証書

出張修理

| | |
|---|---|
| ※お客様 | お名前　　様<br>ご住所<br>電話番号（　　）　　ー |
| ※販売店 | 取扱販売店名・住所・電話番号 |

| | |
|---|---|
| ※お引渡し日 | 年　　月　　日 |
| シリーズ・品番 | |
| 保証期間 | お引渡し日より　　本体2年間 |

## 無料修理規定

ご販売店様へ 上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

本書はお引き渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   (1)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。
   (2)この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (1)使用上の故意･過失または不当な修理や改造による故障および損傷
   (2)消耗部品（蛇口、パッキン、フィルター、ねじなど）の取り替えや修理、「取出します」･「戻します」･配管のごみ詰まりなどによる故障および損傷
   (3)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
   (4)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）などによる故障および損傷
   (5)凍結などによる故障および損傷
   (6)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
   (7)仕上げの傷などで、お引き渡し時にご指摘がなかったもの
   (8)瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
   (9)維持管理の不備による汚れ、さびなどの不具合
   (10)第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合
   (11)犬･猫･鳥･鼠などの小動物や虫などの行為に起因する故障および損傷
   (12)取扱説明書･施工説明書に記載された方法以外の設置内容に起因する損傷や故障
   (13)設置場所の地盤沈下など対象商品本体以外の不具合に起因する故障および損傷
   (14)取扱説明書に記載されている使い方以外の方法や、異常水質で使用した場合
   (15)契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
   (16)保証期間経過後に修理ご依頼があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに修理ご依頼がなかったもの
   (17)一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷
   (18)本書のご提示がない場合
   (19)保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）あるいは字句を書き替えられた場合
   (20)離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
   (21)火気、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤　強酸･強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤など）の使用により発生した損傷
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
6. お客様ご相談センターは次ページをご参照ください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　外廻りシステムビジネスユニット
〒520-3041 滋賀県栗東市出庭19番地　TEL.(077)552-0448

# 商品のお問い合わせ

商品に関するお問い合わせは、下記最寄りの営業所または、お客様ご相談窓口にお願いいたします。

## ケイミュー株式会社（販売元）

### 営業拠点

北海道営業所　〒060-0809 札幌市北区北9条西2丁目1番地
電話（011）746-2663　FAX（011）746-2664

道東営業所　〒085-0057 釧路市愛国西2丁目1番11号
電話（0154）36-8410　FAX（0154）36-8411

道北営業所　〒078-8212 旭川市2条通21丁目左1号
電話（0166）35-6411　FAX（0166）35-6412

東北営業所　〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45フォレスト仙台9F
電話（022）727-8860　FAX（022）272-2127

青森営業所　〒030-0822 青森市中央2-2-12
電話（017）723-0406　FAX（017）723-0407

奥羽営業所　〒020-0122 盛岡市みたけ4-3-8
電話（019）643-0676　FAX（019）643-0677

秋田営業所　〒010-0917 秋田市泉中央1-15-12
電話（018）863-7920　FAX（018）863-7921

山形営業所　〒990-0039 山形市香澄町3丁目1番7号 朝日生命山形ビル9F
電話（023）633-3772　FAX（023）633-3773

福島営業所　〒963-8024 郡山市朝日2-5-15
電話（024）939-4778　FAX（024）939-4779

東京営業所　〒105-0014 東京都港区芝3丁目8-2芝公園ファーストビル2F
電話（03）5419-1112　FAX（03）5419-1107

特需営業所(東京)　〒105-0014 東京都港区芝3丁目8-2芝公園ファーストビル2F
電話（03）5419-1541　FAX（03）5419-1641

西東京営業所　〒190-0022 東京都立川市錦町3丁目6-6
電話（042）527-0981　FAX（042）527-0983

新潟営業所　〒950-2031 新潟市西区流通センター1-1-3
電話（025）260-8050　FAX（025）260-8051

長野営業所　〒380-0916 長野市大字稲葉字中千田沖2188-1
電話（026）223-7831　FAX（026）223-7841

茨城営業所　〒310-0851 水戸市千波町海道付2313
電話（029）241-9756　FAX（029）241-9763

北関東営業所　〒370-0006 高崎市問屋町1丁目6番7号
電話（027）361-5236　FAX（027）361-5237

宇都宮営業所　〒320-0833 宇都宮市不動前1-3-12
電話（028）633-7286　FAX（028）633-7287

埼玉営業所　〒330-0081 さいたま市中央区新都心4-3ウェルクビル7F
電話（048）600-0522　FAX（048）600-0538

東関東営業所　〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台7-16-4
電話（043）207-1071　FAX（043）207-1072

東関東・柏営業所　〒277-0005 千葉県柏市柏1356番地5
電話（04）7162-0761　FAX（04）7162-0762

神奈川営業所　〒221-0056 横浜市神奈川区金港町2-6横浜プラザビル3F
電話（045）450-9285　FAX（045）450-9286

名古屋営業所　〒450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号
電話（052）582-5634　FAX（052）561-6132

北陸営業所　〒920-8203 金沢市鞍月4-117
電話（076）268-9590　FAX（076）268-9591
※福井営業所は北陸営業所に統合いたしました

浜松営業所　〒430-0913 浜松市中区船越町33番26号
電話（053）466-9071　FAX（053）466-9069

静岡営業所　〒420-0803 静岡市葵区千代田7-10-30
電話（054）261-0336　FAX（054）261-0338

三重営業所　〒514-0031 津市北丸之内166
電話（059）226-2276　FAX（059）226-2286

大阪営業所　〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー13F
電話（06）6945-8134　FAX（06）6945-8072

大阪南営業所　〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー13F
電話（06）6945-8138　FAX（06）6945-8122

特需営業所(近畿)　〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号クリスタルタワー13F
電話（06）6945-8139　FAX（06）6945-8074

京滋営業所　〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町34
電話（075）661-0845　FAX（075）661-0846

神戸営業所　〒650-0031 神戸市中央区東町126神戸シルクセンタービル8F
電話（078）333-1048　FAX（078）333-1105

広島営業所　〒730-0037 広島市中区中町7番1号
電話（082）245-0354　FAX（082）247-6290

山陰営業所　〒683-0804 米子市米原4-5-43
電話（0859）22-9322　FAX（0859）22-9323

岡山営業所　〒700-0973 岡山市北区下中野337-106
電話（086）243-0560　FAX（086）243-0569

山口営業所　〒754-0022 山口市小郡花園町7-22
電話（083）973-5586　FAX（083）973-5587

四国営業所　〒761-0113 高松市屋島西町字百石1960
電話（087）843-6114　FAX（087）843-6117

松山営業所　〒790-0921 松山市福音寺町24-1
電話（089）970-8011　FAX（089）970-8012

高知営業所　〒780-8007 高知市仲田町7-24
電話（088）831-5601　FAX（088）831-5611

福岡営業所　〒810-8530 福岡市中央区薬院3丁目1番24号
電話（092）523-9755　FAX（092）523-9756
※長崎営業所は福岡営業所に統合いたしました

北九州営業所　〒802-0974 北九州市小倉南区徳力6-14-35
電話（093）964-7901　FAX（093）964-7902

大分営業所　〒870-0152 大分市牧23-1
電話（097）558-3653　FAX（097）558-3677

熊本営業所　〒860-0072 熊本市花園1丁目5番5号
電話（096）355-8330　FAX（096）355-8331

宮崎営業所　〒880-0925 宮崎市大字本郷北方字草葉2099-2
電話（0985）53-7104　FAX（0985）53-7105

南九州営業所　〒890-0072 鹿児島市新栄町18-2
電話（099）253-0735　FAX（099）253-0736

※住所・電話番号など変更になる場合があります。ご了承ください。2011年8月現在。



## パナソニック お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-878-365（携帯・PHS OK）

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6907-1187

●FAX……フリーダイヤル 0120-878-236

【受付時間】365日／9:00～20:00

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。 ※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

| 音声ガイダンスを短くするには | 案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「990#」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。） |
|---|---|

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

| ご相談窓口における お客様の個人情報の お取り扱いについて | パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。 |
|---|---|

パナソニック株式会社　外廻りシステムビジネスユニット
〒520- 3401 滋賀県栗東市出庭19番地

© Panasonic Corporation 2012

U0210-21211（000）0112　R1-05-2